



お元気ですか!
志村 たかよし です

第933号 2019年4月7日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

予算委員会
報告

2019年度各会計予算に反対

税金の使い道は 区民のために

「区民福祉の増進」を最優先にする区政に

19年度予算は、今期をもって
退任すると表明した矢田区長、
最後の予算編成案です。

私は「中央区がどこへ向かおうとしているのか。どこへ向かうべきなのか」という視点に立って予算委員会の審議にのぞみました。

問われる区政のかじ取り

中央区は、急激な人口増にと
もなう区民サービスの後退とい
ンフラ整備の遅れという課題解



決に向けての対応を迫られてい
ます。

人口増をさらに助長させる大
規模再開発中心のまちづくりと
人口急増への対応に手を取られ、
区民サービスが削減されるとい
う路線を続けていくのか、それ
とも、地方自治体の本旨である
「住民の福祉の増進」をはかる
ことに主眼をおく新たな方向へ
舵を切るのか、問われていま
す。

しかし、区は、人口急増の要
因である「大規模再開発中心の
まちづくり」を改める姿勢を示
さず、区が抱える課題をどう乗
り越えるのかという具体策も示
すことはありませんでした。

党区議団は、総合的に判断し、
19年度の各会計予算に反対しま
した。

課題の解決方向を提案

―市街地再開発事業は見直す―

「東京一極集中」を是正し、
住環境をまもるためにも、市街
地再開発事業中心のまちづくり
を見直し、持続可能な中低層住
宅中心のまちづくりをすすめる
べきです。

―ホテルの規制強化を―

住民からの反対の声が多いホ
テル建設を誘導する「地区計画
の変更」は見直し、ホテルへの
規制を強化すべきです。

―首都高地下化は十分な検証を―

「日本橋」の首都高地下化に
対し、地元では強い反対の声が



あります。十分な検証なしに、地下化ありきですすめる姿勢を改めるべきです。

―駐輪場を無料に戻す

有料化したために稼働率が低下し、年1億5千万円の赤字を出し続ける区立駐輪場は無料に戻すべきです。

区内全体で稼働率が61%と低い中、特に31%と異常に低い月島駅前第一駐輪場は、空きスペースを活用すべきです。

―情報公開手数料は無料に

いまや23区では中央区と品川区のみが徴収している情報公開



手数料は無料にすべきです。

「手数料徴収は妥当」との情報公開審議会の意見は、25年前の答申であり、開かれた区政とするためにも情報公開手数料の無料化が求められます。

―保育ママの安全対策強化を

7年間で3人もの赤ちゃんが亡くなっている中央区の家庭的保育事業は、カメラの設置や保育ママを保育士資格者に限るなどの安全対策をとるべきです。

また、死亡事故の検証結果が公表される前に居宅訪問型保育事業を実施することはやめるべきです。

―18歳までの医療費は無料に

18歳までの子ども医療費無料化を、子どもの貧困対策、及び社会保障の改悪や増税による家計負担の軽減策としても位置づけ、早急の実施すべきです。

―教員の多忙化解消を

教員の多忙化を解消し、子どもときちんと向きあえる環境をつくるためにも、正規の教員や各種講師、補助員など人的配置を拡充すべきです。

―本庁舎整備は総合的な検証を

本庁舎整備は、特別出張所等の機能の再編、更新や、将来的な行政のあり方など総合的に検証し、過大な整備計画とならないようにすべきです。

―国保の負担軽減を

区が、国民健康保険への「法定外繰入れ」を2億円削減したため、一人あたり約5千円の引き上げとなります。「法定外繰入れ」を元に戻すべきです。

保険料滞納世帯に対する差押えは原則として禁止し、滞納者の相談活動や生活再建に力を注ぐべきです。

また、他自治体で実施されている子どもの「均等割」免除を中央区でも実施すべきです。

―介護保険の負担増は中止を

介護保険利用料3%への減額制度打ち切りなど、介護保険サービスの利用抑制につながりかねない負担増はやめるべきです。

―10%増税反対の表明を

今年10月に予定されている消費税10%増税は、区民生活はもちろん、区内中小業者・商店にも甚大な影響を与えます。区長は増税反対を表明すべきです。

この様な論戦を予算委員会で行いました。

「お元気ですか」

バックナンバーの

QRコードです

